

下郷地域周辺の公園整備は

Q 新たな緑拠点の計画公園が位置付けられている

加藤 利江

内容はみえにくい

よくやっている協働推進部

Q 協働推進部設立の目的と役割は、市民と行政が役割を認識し、担い合う協働のまちづくりを推進することを目的として設立された。一例として、ハーフマラソン大会は各種団体や市民の皆さんの協力でできている。職員は団体とのつながり等さまざまな事業がうまくいくように動いていくのが役割である。



Q 仮称南下郷北公園について。地元住民の意見を取り入れ、市民に親しまれる公園の整備計画を策定していきたい。

市民の声、市政を問う

Q オープンガーデンを実施している方やアダプト制度を利用している団体などに、もう少し財政的な支援をしたほうがよいと思うが。

A 限られた予算の中で効果的に事業展開ができるよう工夫している。

婚活応援事業について。

A 企業・団体等と連携を図りながら、婚活を応援していく。

待機児童について。

A 平成28年4月1日現在では、0人である。

希望者の多い1歳については。

A 平成29年4月入園の期間内申込者のうち、242名から申請があり、173名に内定通知を発送した。

Q 原郷上野台線整備事業について。事業費48億円、事業期間は8年を見込んでいる。

Q

市政のここが聞きたい

議会のホームページから、議会の映像がご覧いただけます。



質問項目一覧 (通告順)

- 加藤 利江
 - ①行政組織のあるべき姿について
 - ②ボランティア活動について
 - ③婚活応援事業について
 - ④待機児童について
 - ⑤北通り線整備事業
 - ⑥原郷上野台線整備事業について
 - ⑦高齢者の免許証返納について
 - ⑧公営の納骨堂を作る必要があるのでは
- 中矢 寿子
 - ①使用済み小型家電収集（リサイクル）について
 - ②マイナンバーカードについて
- 佐久間 奈々
 - ①花園IC拠点整備プロジェクトについて
- 鈴木 三男
 - ①国保制度の広域化について
 - ②教育環境整備について
 - ③水道問題について
- 清水 修
 - ①高齢ドライバーによる運転免許証の自主返納に対する市の対策について
 - ②公共施設のトイレの改善について
 - ③指定管理者制度について
- 五間 くみ子
 - ①高齢者施策について
- 三田部 恒明
 - ①国民健康保険
 - ②地方創生
- 茂木 一郎
 - ①農業振興について
- 村川 徳浩（ミルクおやじ）
 - ①花園IC拠点整備プロジェクトについて
- 角田 義徳
 - ①地方創生について

Q

旧3町公共施設のトイレの改善は最優先課題だ

A

計画的に実施しよう

清水 修

Q 川本、岡部、花園地域の公共施設のトイレの改善について聞きたい。合併して10年以上経つが、和式トイレしかない施設（川本総合センター、川本公民館2階、岡部多目的センター）や、薄暗く臭いが強いトイレ（岡部多目的センター）、男女兼用やベニヤ板一枚で男女間が仕切られているなど、プライバシーへの配慮が欠けているトイレ（川本総合センター）、洋式は1カ所だけで他は全て和式（岡部B&G海洋センター、岡部中央グラウンドトイレ、川本公民館1階、花園トイレ）、ユニバーサルトイレ以外は全て和式（川本トイレ、川本公民館大ホール）という状況で、利用者から「水を飲まないうでトイレを我慢している」という声や、川本のトレーニングセンターは中学生も多く利用しているが、トイレを使用するのをためらっている状況だ。また、総合センター利用者（女性）は、設置してあるトイレを使用しないで、隣の施設のトイレを使用している状況であり、旧3町

各施設のトイレの改善は最優先課題だ。また、快適に使用できるようにするまで施設使用料の凍結を。和式トイレの洋式化や改修を実施しており、今後も施設の利用状況や適正配置の方針などを総合的に勘案し、計画的に実施していく。使用料については、公の施設の利用の対価としていただくものであり、使用料を凍結する考えはないが、快適に利用できるよう、清掃や換気など工夫していく。



川本農業者トレーニングセンター

Q

使用済み小型家電回収は毎月1回、指定日に収集している。市民への周知徹底はできているのか。また、現在までの収集量はどのくらいになったのか。

中矢 寿子

マイナンバーカード 発行状況は

Q 人口に占めるカード発行数と割合や通知カードの受け取り拒否について聞きたい。

A 市民周知の手段として「ごみの出し方・分け方」リーフレットへの記載や「使用済み小型家電周知用」リーフレットの配布、広報や公民館だよりへの記載、メール配信サービス等利用している。平成28年の収集量は、10カ月で約200トン。27年度実績は56トンだった。市民周知が図られた結果であると考ええる。

Q 「都市鉱山からつくるーみんなのメダルプロジェクト」の一環として深谷市でも、2020年東京五輪を目指した小型家電収集（各種イベント開催時に回収箱設置等による）を行っているかどうか。

A 大会組織委員会から要請があれば前向きに協力していきたい。

Q

使用済み小型家電収集の状況を聞きたい

A

収集量は10カ月で約200トン

中矢 寿子

マイナンバーカード 発行状況は

Q 人口に占めるカード発行数と割合や通知カードの受け取り拒否について聞きたい。

A 平成29年1月末日現在、1万207件。約7%で、受け取り拒否数は最終的に10件となった。

Q 発行促進対策として、自動申請証明写真機を庁内設置してはどうか。

A 以前検討したが、スペース確保が難しく見送った。今後の申請状況や他市町村の動向を注視しながら、新庁舎建設に合わせ検討していく。



小型家電から抽出したリサイクル金属でメダルを制作します